



宮古市
Miyako City

浄土ヶ浜
いいイロ
1116

遊覧船運航事業



～夢と希望と笑顔を乗せて～

宮古市企業版ふるさと納税寄附募集プロジェクト



(プロジェクトの概要)

遊覧船「宮古うみねこ丸」は、令和4年7月17日より運航を開始し、令和8年2月時点で14万人以上の方に、ご乗船いただいています。

「みんなの船」をコンセプトに、クラウドファンディングや募金等で資金を募り、市が船を建造し、民間事業者が管理を行う、公設民営の形態で運航しております。

広い展望デッキから眺める大パノラマの太平洋や三陸の雄大な海岸美は、見る者を圧倒する迫力満点の景色で、宮古うみねこ丸でしか見られない自然の芸術です。

これからも、皆様の「夢と希望と笑顔」を乗せて安全・安心な運航を継続してまいります。



(事業の具体的な内容)

令和8年度は、以下の費用として寄付金を活用いたします。

●電動クラッチ非常時対応機能の追加

通常時に使用しているリモコンレバーの電源供給が途絶えた場合に、船を操縦し、岸に着岸することができる非常時対応用の装置を追加します。

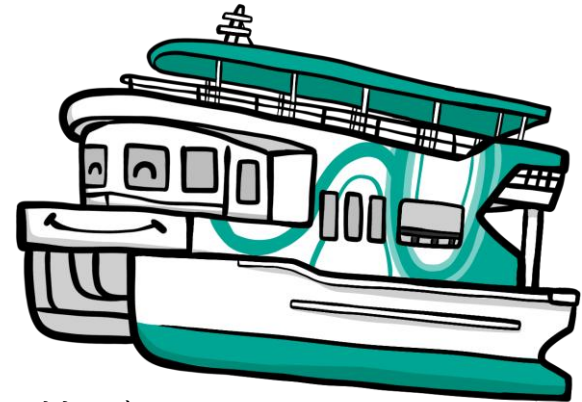
●経年劣化修繕

運航開始から間もなく4年。日々の運航により劣化した船体や設備の修繕を行います。

令和7年度、宮古うみねこ丸では皆様からの寄付金を活用し、令和7年から整備が義務化された以下の設備を、いち早く設置することができました。設備の整備を徹底し、より安心・安全な運航に努めます。

(R7整備済み設備)

- ・小型船舶用改良型救命浮器 (救命いかだ)
- ・AIS送受信機 (自動船舶識別装置)
- ・国際VHF無線機 (世界中の船舶・沿岸局と通信できる機器)



宮古
うみねこ丸

(事業費)

356万円

(寄附目標額)

300万円

(企業の皆様へのメッセージ)

宮古市民の想いを乗せて走る「宮古うみねこ丸」は、市民の希望の船です。

多くの方々の強い願いで運航を開始した「宮古うみねこ丸」が、これから先も安全・安心な運航を継続するため、そして、宮古の美しい海の象徴として、夢と希望と笑顔を乗せ続けるために、皆様の温かいご支援をお願いいたします。

